Panasonic

カンタッチシーリングR1

取扱説明書

保管用

（一般屋内用） 品番 NSS22940A　　NSS22944A（ルーバ付）

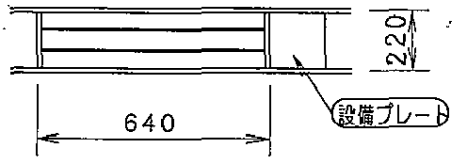
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

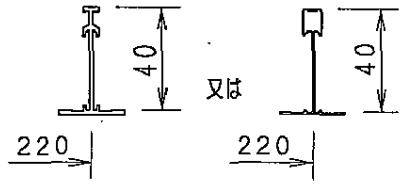
施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。
  施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。　火災の原因となります。
- 器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±６%）・周波数以外の電源で使用しない。
  感電・火災の原因となります。
- この器具は当社Ｔバー専用器具です。他社バーには取付けない。　落下の原因となります。
- Ｔバー芯間隔は２２０±１．５であることを確認する。　間隔が広すぎると落下の原因となります。





⚠注意

- 雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。　落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、５～３５℃以外では、使用しないでください。

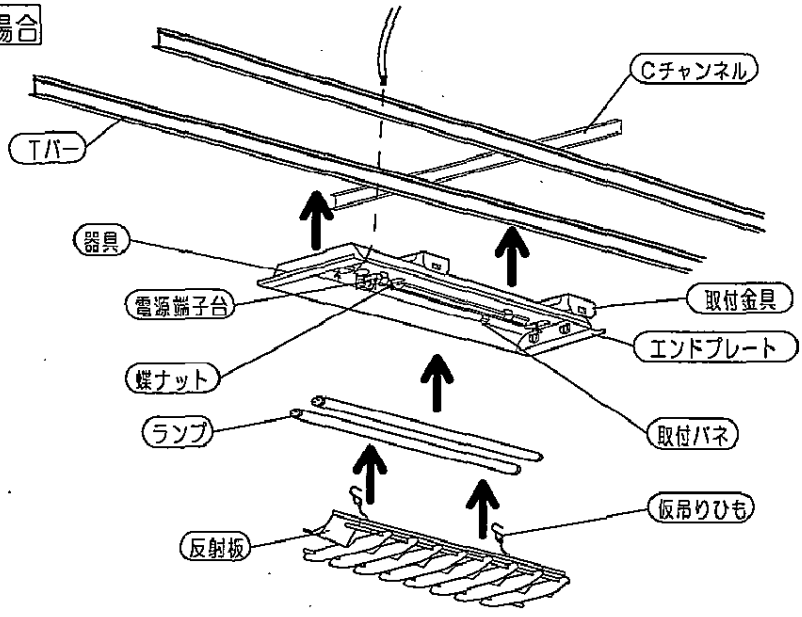
各部のなまえと取付方法

⚠警告

施工は取付方法にしたがい確実に行なう。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

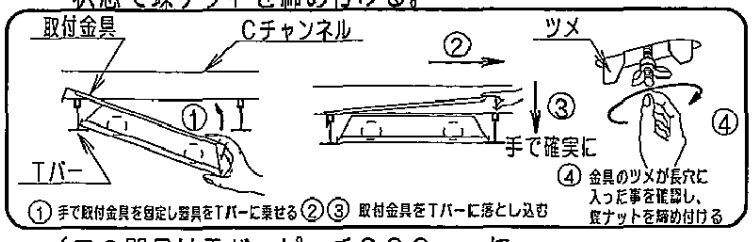
取付方法1（本体部・取付金具をセット状態で取付ける場合）

NSS22944Aの場合



1　器具の取付

・蝶ナットをゆるめ、あらかじめ取付金具を片側に寄せた状態で器具をTバーにのせ、取付金具をTバーに落とし込み元に戻した状態で蝶ナットを締め付ける。



（この器具はTバーピッチ220mmに対応しています。）

エンドプレートの下面がTバーに接触する様カチッというまで確実に落し込んでください。

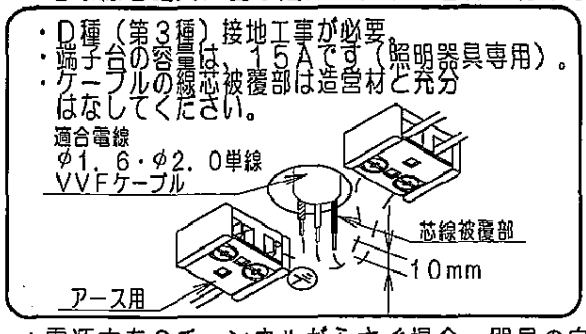
落し込みが不完全な場合、器具落下の原因となります。

2　電源線の接続

・電源線を確実に差し込んで、ネジを締め付ける。

・D種（第3種）接地工事が必要。
・端子台の容量は、15A です（照明器具専用）。
・ケーブルの線芯被覆部は造営材と充分はなしてください。

適合電線
φ1．6・φ2．0単線
VVFケーブル



＊電源穴をCチャンネルがふさぐ場合、器具の向きを変えてご使用ください。

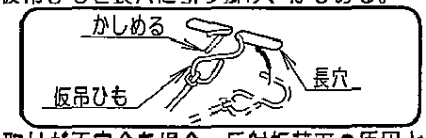
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

＊1　取付金具とCチャンネルが当たる場合は、器具の向きを変えて取付けてください。

3　ランプを確実に取付ける

4　仮吊ひもの取付

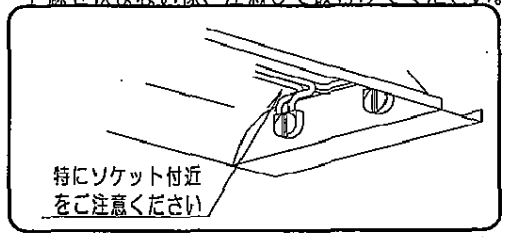
・仮吊ひもを長穴に引っ掛け、かしめる。



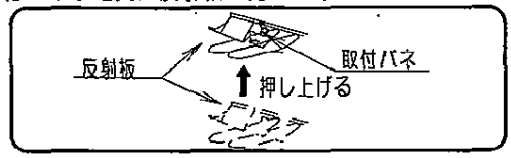
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

5　反射板の取付

・リード線を挟まない様、注意して取付けてください。

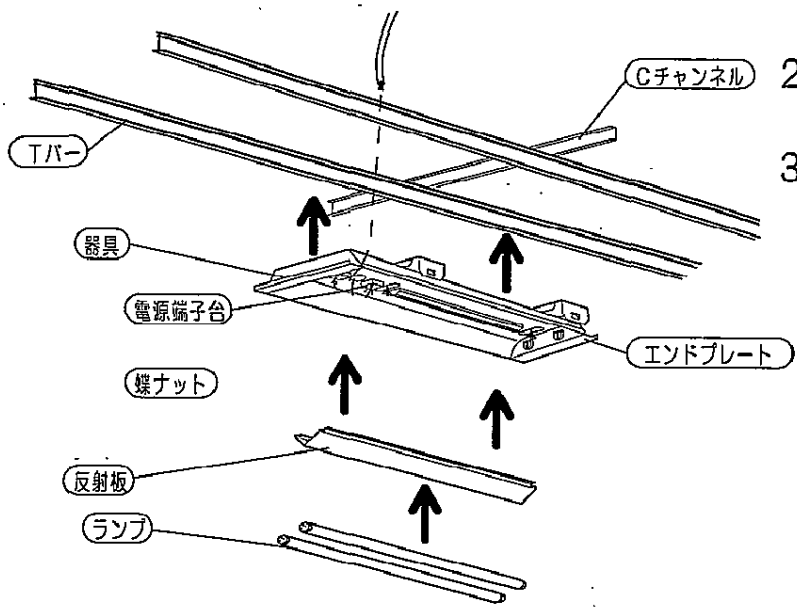


・取付バネを確実に反射板の角穴にはめ込んでください。



取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

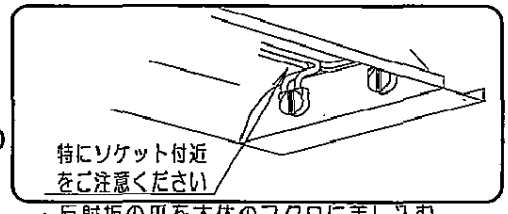
NSS22940Aの場合



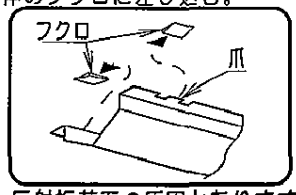
1　器具の取付
詳細は（NSS22944Aの場合）の「器具取付」をご参照ください。

2　電源線の接続
詳細は（NSS22944Aの場合）の「電源線の接続」をご参照ください。

3　反射板の取付
・リード線を挟まない様、注意して取付けてください。



・反射板の爪を本体のフクロに差し込む。

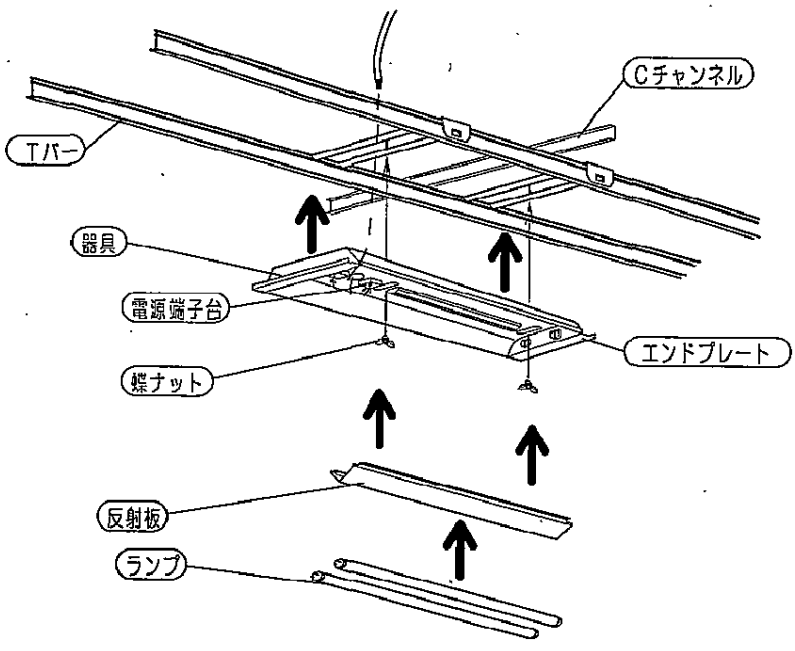


取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

4　ランプを確実に取付ける

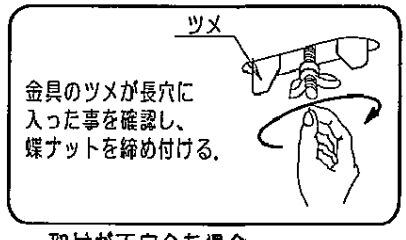
取付方法2（本体部・取付金具を分離して取付ける場合）

NSS22940Aの場合



1　取付金具のTバーへの取付
・取付金具を蝶ナットにて器具から取り外した状態にしてください
・取付金具をTバーの上に落とし込んでください
落込みが不完全な場合、
器具落下の原因となります。

2　器具の取付
・器具をTバーにのせ、蝶ナットで取付金具に取付けてください。



取付が不完全な場合、
器具落下の原因となります。

3　電源線の接続
詳細は（NSS22944Aの場合）の「電源線の接続」をご参照ください。

4　反射板の取付
詳細は（NSS22940Aの場合）の「反射板取付」をご参照ください。

5　ランプを確実に取付ける

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。
  すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
- アルカリ系洗剤は使用しない。　強度低下による破損の原因となります。

⚠注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。　感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して※１０年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。
  点検・交換してください。
  ※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯、年間３０００時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- １年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
  点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

使用上のご注意

・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し対策を講じて下さい。

保証について

・保証について・・・・この商品の保証期間は１年間です。但し、安定器は３年間です。
　ランプ・グロー点灯管・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

お手入れ・ランプ交換　⚠注意（必ず電源を切って行なってください。　感電の原因となります。）

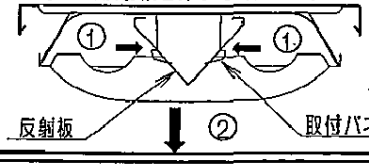
・器具の清掃について　・・・・・　・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
　シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
　変色・変質、強度低下によりる破損の原因となります。
・ランプ交換について　・・・・・　・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
　（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください）

交換部品	Hf蛍光ランプ	FHF16EX

（NSS22944の場合）

1　反射板を外す

・取付バネを押して反射板を外してください。



2　ランプを交換する

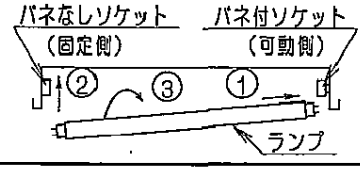
3　反射板を取付ける

・取り外した時の逆の手順で取付けてください。
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

（ランプの交換方法）

ランプ取付手順

① 可動側にソケットを押し込む
② ランプを固定側に差し込む
③ ランプを９０°回転させる



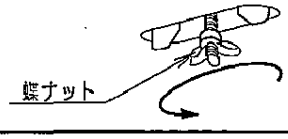
器具の取外し方法　⚠注意（必ず電源を切って行なってください。　感電の原因となります。）

・お手入れ等で器具を取外す場合は、以下の手順で行ってください。

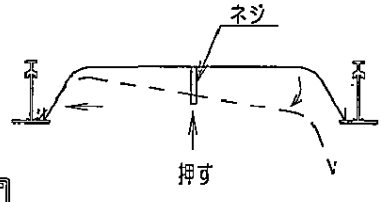
1　反射板を外す。

2　電源線を端子台から外す。
（ネジを緩め、電源線を抜いてください。）

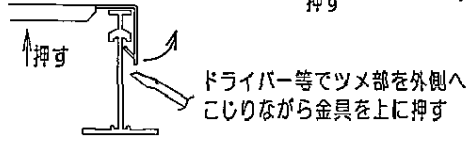
3　蝶ナットを外す。



4　蝶ナットを止めていたネジを上に押しながら器具を横にずらしてバーから外す。



5　必要に応じてバーに取付いている取付金具を外す。



パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571－8686　大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120－878－365（フリーダイヤル）　0120－878－236（FAX）

MN0305－020112